

様式1 令和元年度 清瀬市立清瀬第五中学校 学校評価計画

学校の教育目標	○「和敬」—明るく思いやりのある人 ○「思索」—深く静かに考える人 ○「剛健」—たくましく、我慢強い人	育成を目指す資質・能力及び特色ある教育活動	体験的な学習活動を主軸として、創造性豊かで自他を尊重する精神を身に付けた人間性豊かな生徒を育成する。育成を目指す資質能力 ①主として学びに向かう力、人間性等の涵養 ②主として思考力、判断力、表現力等の育成 ③主として心身の健康、豊かなスポーツライフの育成
---------	---	-----------------------	---

目指す学校像(ビジョン)		【目指す学校像】 ○生徒にとって楽しく行きがいのある学校 ○保護者にとって親しみがあり、地域に開かれた学校 ○教職員にとって自己研鑽に励み、協力して進める学校
目指す児童・生徒像		○「和敬」—明るく思いやりのある人「発信力」「傾聴力」「柔軟性」「状況把握力」「規律性」「ストレスコントロール力」の育成 ○「思索」—深く静かに考える人「課題発見力」「計画力」「創造力」の育成 ○「剛健」—たくましく、我慢強い人「主体性」「働きかけ力」「実行力」の育成
目指す教師像		○常に生徒のことを第一に考える教師 ○生徒のためという同一の視点に立って協力し、体罰を許さぬ教師 ○自己研鑽に励み授業改善に取り組む教師

前年度までの学校経営上の成果と課題

オリンピック・パラリンピック教育アワード校や道徳授業の取組みおよび地域活動(総合防災訓練)を通じて「支える」(社会に貢献しようとする意欲や他者を思いやる心)(全ての人々が共に助け合い、支え合って生きていく力を身に付ける)力の醸成ができてきた。また、各種活動を通じて、生徒が主体的に行動する機会も増加した。一方、小学校からの人間関係が大きく変わることが無いので、互いの思い込みから意識が変わらないのは、弊害となっている。今後、自己肯定感を高められる「自分を大切に」指導も必要である。

柱	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標(評価基準)	成果指標(評価基準)
---	--------	--------	-------	------------	------------

柱	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標(評価基準)	成果指標(評価基準)
確かな学力の向上	基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けさせる。	誰もが分かる授業を展開する。	清瀬市学力調査、児童・生徒の学力向上を図るための調査、全国学力学習状況調査を分析し、授業改善推進プランを活用して指導の方法や内容を充実させる。	4 具体的方策に係る指導の実施率90%以上	4 生徒の自己評価で、満足度90%以上
			目標(学習めあて)の提示・導入の工夫・めあてと板書内容を使った振り返りを行う。	3 具体的方策に係る指導の実施率80%以上90%未満 2 具体的方策に係る指導の実施率70%以上80%未満 1 具体的方策に係る指導の実施率70%未満	4 教員の自己評価で、肯定的評価90%以上 3 教員の自己評価で、肯定的評価70%以上 2 教員の自己評価で、肯定的評価50%以上 1 教員の自己評価で、肯定的評価50%未満
豊かな心の育成	基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、人権尊重の理念を正しく理解させ、自他の生命を尊重する心を育てる。	いじめの未然防止、早期発見の取組みを全教職員で組織的にこなす。	「いつでも誰とでも相談週間」の活用やいじめ調査を定期的実施し、実態を把握する。	4 実施回数年間5回以上 3 実施回数年間4回以上 2 実施回数年間2回以上 1 実施回数年間2回未満	4 生徒の自己評価で、満足度90%以上 3 生徒の自己評価で、満足度80%以上90%未満 2 生徒の自己評価で、満足度70%以上80%未満 1 生徒の自己評価で、満足度70%未満
		身の回りの環境や地域社会、福祉などについて考えることを通し、主体的に判断し、課題を解決する能力や態度を育てる。	農園活動や農業体験、赤ちゃんのチカラプロジェクト、認知症サポーター養成講座、ハンセン病資料館訪問、SOSの出し方教育を「命と人権教育」として実施する。	4 「命と人権」に係る体験的な学習活動を年間4回以上実施 3 「命と人権」に係る体験的な学習活動を年間3回以上実施 2 「命と人権」に係る体験的な学習活動を年間2回以上実施 1 「命と人権」に係る体験的な学習活動を年間1回以上実施	4 生徒の自己評価で、満足度90%以上 3 生徒の自己評価で、満足度80%以上90%未満 2 生徒の自己評価で、満足度70%以上80%未満 1 生徒の自己評価で、満足度70%未満
健やかな体の育成	生徒の主体的な活動を充実させ、健康で活力のある生活を送ることができるようにする。	オリンピック・パラリンピック教育等の体験的な学習活動を通して、オリンピック、パラリンピアンをはじめとした外部講師や外部指導員による講演及び実技指導の機会を設ける。	専門家による指導など生徒が体験的に学ぶ機会を設ける。	4 オリンピック・パラリンピック教育等に関する学習活動を年間5回以上実施 3 オリンピック・パラリンピック教育等に関する学習活動を年間3回以上実施 2 オリンピック・パラリンピック教育等に関する学習活動を年間1回以上実施 1 オリンピック・パラリンピック教育等に関する学習活動を実施することができなかった	4 生徒の自己評価で、満足度90%以上 3 生徒の自己評価で、満足度80%以上90%未満 2 生徒の自己評価で、満足度70%以上80%未満 1 生徒の自己評価で、満足度70%未満
			健康・安全に係る取組みを外部講師の招へいや生徒会活動などを通して実施し、生徒の主体性を育てる。	4 教職員の自己評価で、肯定的回答90%以上 3 教職員の自己評価で、肯定的回答80%以上90%未満 2 教職員の自己評価で、肯定的回答70%以上80%未満 1 教職員の自己評価で、肯定的回答70%未満	4 生徒の自己評価で、満足度90%以上 3 生徒の自己評価で、満足度80%以上90%未満 2 生徒の自己評価で、満足度70%以上80%未満 1 生徒の自己評価で、満足度70%未満
本校の特色①	特別支援教育の充実を図る。	専門家との連携をすすめ、特別支援教育への理解を深めていき、支援を要する生徒の視点を踏まえた授業の工夫改善に取り組む。	ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業(教師の言葉かけや授業の進め方等)の実施や、教室環境の整備を推進する。	4 教員の自己評価で、肯定的評価90%以上 3 教員の自己評価で、肯定的評価70%以上 2 教員の自己評価で、肯定的評価50%以上 1 教員の自己評価で、肯定的評価50%未満	4 保護者へのグループ・インタビューで、「極めて良好」(申し分なく達成)と評価 3 保護者へのグループ・インタビューで、「良好」(概ね達成した)と評価 2 保護者へのグループ・インタビューで、「もう一歩」(やや下回った)と評価 1 保護者へのグループ・インタビューで、「奮起を期待」(大きく下回った)と評価
			サポートルーム教員との連携を密にとり、支援を必要とする生徒の情報を全教職員で共有し、組織的に対応する。	4 教員の自己評価で、肯定的評価90%以上 3 教員の自己評価で、肯定的評価70%以上 2 教員の自己評価で、肯定的評価50%以上 1 教員の自己評価で、肯定的評価50%未満	4 教職員の達成度の評価A 3 教職員の達成度の評価B 2 教職員の達成度の評価C 1 教職員の達成度の評価D
本校の特色②	保護者や地域に開かれた学校を創造し地域連携を深める。	情報の公開により、開かれた学校を推進し、保護者や地域の方々による教育活動への参画を促し、学校運営に反映させる。	学校・学年たよりやホームページに日々の教育活動を掲載する。また、一斉メールも活用し、情報を随時発信する。	4 教員の自己評価で、肯定的評価90%以上 3 教員の自己評価で、肯定的評価70%以上 2 教員の自己評価で、肯定的評価50%以上 1 教員の自己評価で、肯定的評価50%未満	4 保護者の満足度A 3 保護者の満足度B 2 保護者の満足度C 1 保護者の満足度D
		学校支援本部、青少年問題協議会、保護者代表者会等と協働し、生徒の健全育成に努める。	道徳授業地区公開講座、地域清掃、農業体験・職場体験等の学校との共催行事を企画し実施する。	4 全学年で、地域の人材を活用 3 3分の2以上の学年で、地域の人材を活用 2 3分の1以上の学年で、地域の人材を活用 1 地域の人材の活用が未実施	4 生徒の満足度の評価A 3 生徒の満足度の評価B 2 生徒の満足度の評価C 1 生徒の満足度の評価D